

[著者紹介]

やぶき すすむ
矢吹 晋

1938年福島県郡山市生まれ。

1957年福島県立安積高校卒。

1962年東大経済学部卒。

東洋経済新報社記者、アジア経済研究所研究員を経て、横浜市立大学教授、2004年定年退職。

現在、横浜市立大名誉教授。(財)東洋文庫研究員、21世紀中国総研ディレクター、国際善隣協会理事、朝河貫一顕彰協会代表理事。

著作一覧* 便宜のため、都立中央図書館所蔵のものに限った。

- 1 『日本の発見：朝河貫一と歴史学』（花伝社、2008年12月）
- 2 『朝河貫一とその時代』（花伝社、2007年12月）
- 3 『中国の政治経済の虚実：激辛書評で知る』（日経BP社、2007年5月）
- 4 『朝河貫一比較封建制論集』（朝河貫一著、柏書房、2007年2月）
- 5 『大化改新』（朝河貫一著、柏書房、2006年7月）
- 6 『入来文書』（朝河貫一著、柏書房、2005年8月）
- 7 『日中の風穴：未来に向かう日中関係』（勉誠出版、2004年9月）
- 8 『鄧小平』（講談社、2003年8月、講談社学術文庫1610）
- 9 『中国から日本が見える』（ウエイツ、2002年10月、That's Japan；002）
- 10 『ポーツマスから消された男：朝河貫一の日露戦争論』（著・編訳、東信堂、2002年2月、横浜市立大学叢書4）
- 11 『中国の権力システム：ポスト江沢民のパワーゲーム』（平凡社、2000年10月、平凡社新書058）
- 12 *China's new political economy* / Susumu Yabuki, Stephen M. Harner. Rev. ed. Boulder, Colo. : Westview Press, 1999. xxx, 327 p.
- 13 『〈図説〉中国の経済』（第2版 / 蒼蒼社、1998年2月）
- 14 『中国人民解放軍』（講談社、1996年7月、講談社選書メチエ）
- 15 『巨大国家中国のゆくえ：国家・社会・経済』（東方書店、1996年6月）
- 16 *China's new political economy : the giant awakes* / Susumu Yabuki ; translated by Stephen M. Harner. Boulder : Westview Press, 1995. xxxii, 320 p.
- 17 『鄧小平なき中国経済』（蒼蒼社、1995年2月）
- 18 『〈図説〉中国の経済』（増補改定版、蒼蒼社、1994年1月）
- 19 『鄧小平』（講談社、1993年6月、講談社現代新書）
- 20 『〈図説〉中国の経済』（蒼蒼社、1992年8月）
- 21 『保守派 vs. 改革派：中国の権力闘争』（蒼蒼社、1991年11月）
- 22 『毛沢東と周恩来』（講談社、1991年10月、講談社現代新書）
- 23 『ベキノロジー：世紀末中国事情』（蒼蒼社、1991年6月）

- 24 『中国における人権侵害：天安門事件以後の情況』（アムネスティ・インターナショナル著、蒼蒼社、1991年3月）
- 25 『天安門事件の真相』（下巻、編著、蒼蒼社、1990年9月）
- 26 『天安門事件の真相』（上巻、編著、蒼蒼社、1990年6月）
- 27 『チャイナ・クライシス重要文献』（第3巻、編訳、蒼蒼社、1989年12月）
- 28 『チャイナ・クライシス重要文献』（第2巻、編訳、蒼蒼社、1989年9月）
- 29 『チャイナ・クライシス重要文献』（第1巻、編訳、蒼蒼社、1989年8月）
- 30 『文化大革命』（講談社、1989年10月、講談社現代新書）
- 31 『中国のペレストロイカ：民主改革の旗手たち』（蒼蒼社、1988年8月）
- 32 『ポスト鄧小平：改革と開放の行方』（蒼蒼社、1988年3月）
- 33 『中国開放のプレーン・トラスト』（蒼蒼社、1987年2月）
- 34 『改革期中国のイデオロギーと政策：1978～1987』（スチュアート・R. シュラム著、蒼蒼社、1987年6月）
- 35 『「図説」中国の経済水準』（蒼蒼社、1986年12月）
- 36 『チャイナ・ウォッチング：経済改革から政治改革へ』（蒼蒼社、1986年10月）
- 37 『チャイナ・シンドローム：限りなく資本主義に近い社会主義』（蒼蒼社、1986年12月）
- 38 『二〇〇〇年の中国』（論創社、1984年7月）
- 39 『中国トロッキスト回想録：中国革命の再発掘』（王凡西著、柘植書房、1979年、アジア叢書）
- 40 『中国経済と毛沢東戦略』（J. ガーリー著、共訳、岩波書店、1978年6月、岩波現代選書）
- 41 『思想の積木：毛沢東思想の内容と形式』（金思愷著、竜溪書舎、1977年）
- 42 『中国石油：その現状と可能性』（編著、竜溪書舎、1976年）
- 43 『中国社会主義経済の理論：政治経済学基礎知識』（訳、竜溪書舎、1975年）
- 44 『毛沢東社会主義建設を語る』（編訳、現代評論社、1975年）
- 45 『毛沢東政治経済学を語る：ソ連政治経済学読書ノート』（現代評論社、1974年）

[共著など]

- 46 『日中相互理解のための中国ナショナリズムとメディア分析』（高井潔司編著、明石書店、2005年10月）
- 47 『現代中国治国論：蒋介石から胡錦濤まで』（許介鱗編、勉誠出版、2004年7月）
- 48 『日中相互理解とメディアの役割』（日中コミュニケーション研究会編、日本僑報社、2002年7月）
- 49 『李登輝・その虚像と実像』戴國輝対談への解説、草風館、2002年5月）
- 50 『中国情報用語事典』（1999～2000年版、竹内実と共編、蒼蒼社、1999年8月）
- 51 『周恩来十九歳の東京日記』（解説、小学館、1999年10月、小学館文庫）
- 52 『「大中国」はどうなる』（文芸春秋編、文芸春秋、1996年9月）
- 53 『変貌するアジアの社会主義国家：中国・ベトナム・朝鮮』（佐藤経明 [ほか] 著、三田出版会、1995年6月、日本国際フォーラム叢書）